



-「m」字型アートのパネルを張り付ける業者ら

富山県 黒部・宇奈月・新川 アウトドア・レジャー

黒部の生地海岸に「m」再び アートで地域活性化、 蜃気楼の種類で見え方に違い

北日本新聞 (2023年4月25日)

ツイート

一覧

いいね! 0

黒部市の生地海岸に、幅14メートルの「m」字型アート作品が1年5カ月ぶりに設置された。千葉市のアーティストユニット「山下麻衣+小林直人」が黒部市美術館での個展に合わせて制作し好評だったため、今回は単独で設置。前は下位（冬型）蜃気楼（しんきろう）の反転現象で魚津市から「∞」マークに見えたが、今回の上位（春型）蜃気楼の時期には違う見え方になると期待される。

作品「infinity~mirage（インフィニティ・ミラージュ）」は、2021年9~12月に生地海岸に設置された。

蜃気楼による見え方の変化が予想以上に大きく、「∞」に見える日も多かった。

ユニークな作品を地域振興に生かそうと、市美術館や魚津埋没林博物館は今回、アートプロジェクトの実行委員会を設立。アーティストと協力して来年3月まで作品を置き、魚津側から撮る映像をライブ配信するほか、黒部と魚津の海岸を巡るスタンプラリーなども計画する。

この日は業者と学芸員がパネルを堤防に張った。春の上位蜃気楼では像の変化の方向が変わり、「m」が上に反転して見える可能性があるという。黒部市美術館の尺戸智佳子学芸員は「作品を観光や教育にも生かし、海沿い地域の活性化につなげたい」と話している。動画は今月末ごろからYouTubeで配信する。

今日の天気 (05月03日)

詳しく

2023年05月03日 11:00発表

東部
(富山)



24 / -- °C
--/--/0/0 (%)

西部
(伏木)



24 / -- °C
--/--/0/0 (%)

黒部・宇奈月・新川 イベント

もっと見る